

春の星空

【児童センター春の星空3月号】

冬の星空から、北斗七星を中心とする春の星座に入れ替わるのが3月の星空です。天体観望をする人にとっては、平均気温も上がるので星が見やすい季節となりました。

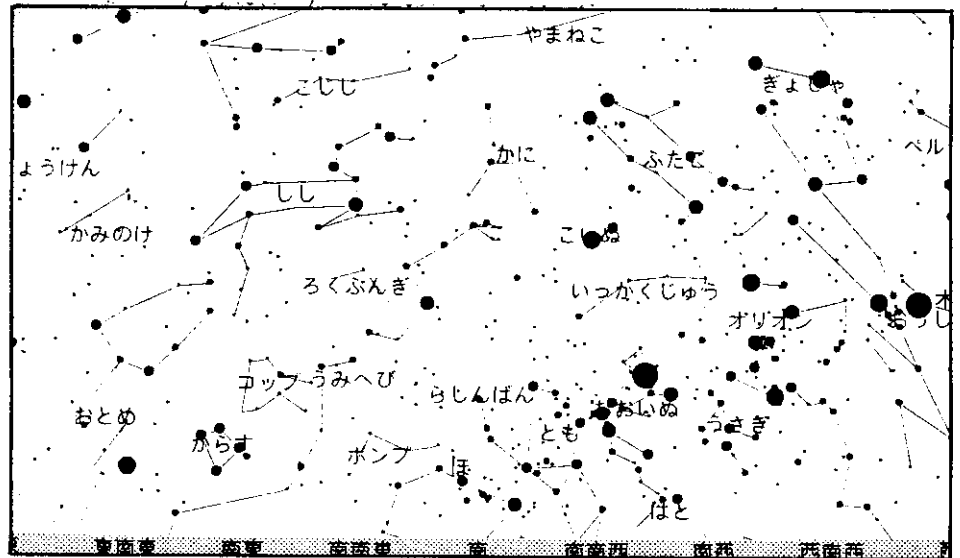
しかし、そろそろ春霞みが気になり季節でもあります。

空が暗くなり、星が見える頃の時間は、まだ“おうし座”や“オリオン座”といった冬の星座が南の空にあります。そして、南天高くに輝く明るい星は、惑星の“木星”です。木星から、おうし座やオリオン座を見つけるのも楽しいですね。

<3月の星空カレンダー>

- 3日(土) ●上弦
- 10日(土) ○満月
- 17日(土) ●下弦
- 25日(日) ●新月

右の星図は、3月中旬夜9時ごろ、南の方向を中心に見た星空です。



☆☆☆☆☆☆

《天文現象》

☆3月上旬、夕方の西空にひときわ明るい星があります。これは、惑星の**金星**ですがこの頃の金星を「宵の明星」と言います。

夕焼けの赤い空にとってもきれいなアクセントになります。

☆3月下旬、夕方の西空に明るい木星と三日月が寄りそって見えます。比較的明るい天体なので、山並みを背景にした写真を撮ることもできます。三脚を使用し、露出時間を少し長めに設定できるカメラがあると、夕焼けをバックにした芸術的な写真となります。

☆プラネタリウム新番組『しまじろうの星空大冒険』

が始まります。3月3日(土)から投影します。

お楽しみに…。

